

働くよろこび、社会参加の輪を広げよう

令和4年7月15日 発行



発行所
公益社団法人
宮古市シルバー人材センター
〒027-0028 宮古市神林3-1
電話 (0193) 63-7443
FAX (0193) 64-3285
HP <https://webc.sjc.ne.jp/miyako/>
編集会報編集委員会



定期総会挨拶

公益社団法人宮古市シルバー人材センター

理事長 福島清春

令和4年度公益社団法人宮古市シルバー人材センター定期総会のご案内をいたしましたところ、会員の皆様にはコロナウイルス感染症の終息が見えぬ中、全国的に拡大傾向にある中、ご出席を頂き有難うございます。

また、本来ですと来賓として、宮古市長様、宮古市議会議長様、宮古公共職業安定所所長様方々のご臨席を頂いておるわけですが、ご承知のとおり新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、ご案内を控えたところです。

次に本題に入りますが、この後予定しております表彰式において、シルバー人材センターの会員として長年在籍され、センターの事業発展に大きく貢献された方々の功績をたたえ、感謝状を贈呈させていただきます。

今後におかれましても健康にご留意され、これまでと同様ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

シルバー人材センターは高齢者の多様な就業ニーズに応じ地域社会の日常生活に密着した、臨時的かつ短期的又は軽易な業務の就業機会を確保し、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進により、地域社会の活性化に寄与すること。また、生涯現役社会の実現についてもセンターは高齢者の「居場所」と「出番」をつくるとともに、会員が支えられる側ではなく支える側として活躍できるよう取り組んで参ります。

我が国においては人口減少、少子高齢化が進展している中で、誰もがいくつになつても活躍できる社会の実現が求められています。加えて「高齢者等の雇用の安定に関する法律」の改正法が四月から施行され、七十歳までの就業機会の確保企業の努力義務とされる一方で、シルバー人材センターについては人手不足分野等での就業機会の開拓、マッチング機能や地域ごとの実情を踏まえた積極的な取り組みの強化が求められます。然しながら先達て東北地方を襲ったマグニチュード7クラスの地震によりあちこちで被害が増大いたしました。

災害にあわれた地域の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災から十一年、本県では昨年三月に全ての応急仮設住宅が解消されました。それぞれ新しい環境の中で日々の暮らしを送られていますが、落ちつき始めた方がいる一方で自身の高齢化や家族関係の変化、居住地域の変貌等による新しい課題を抱える方も多く、今後も人と人との繋がりの再構築や孤立防止に向け、住民主体のコミュニティづくりや関係の連携等、新たな支援策が必要でしょう。引き続きシルバー人材センター事業の「自主・自立・共働・共助」という理念の基、「会員の拡大」と「就業機会の拡大」を最優先課題として事業の推進に取り組んで参ります。

終わりになりますが、会員の皆様には就業にあたり、「安全第一」を心掛け、事故の無いよう就業に努められることをご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

令和4年度 定時総会開催

議案

- ・令和3年度事業報告
 - ・令和3年度収支決算
 - ・役員の選任について

報告事項

- ・令和4年度事業計画
 - ・令和4年度収支予算

令和4年度定時総会が5月27日(金)宮古市地域創生センター3階、大会議室を会場に開催されました。

今年の定時総会は、新型コロナウイルス感染症対策により前年度と同様、規模を縮小して行いました。理事長挨拶後、議長に竹花治雄氏を選出し、議案審議が行われ、提案のとおり承認されました。



■被表彰者紹介

公益社団法人宮古市シルバー人材センター表彰規程に基づき、継続して10年以上在籍し、センター事業の発展に貢献された13名の会員が該当となりました。

被表彰者代表として、三河純子会員に感謝状と記念品を贈呈しました。

■令和4年度被表彰者名簿(以下13名 敬称略)

佐々木 勇	佐々木 富士子	折祖 勝
金澤 純二	遠藤 節子	阿部 尚志
三河 純子	伊藤 美江	南館 昭夫
大坪 竹光	佐藤 耕七	
刈屋 勝孝	熊谷 忠昭	



臨時職員紹介



臨時職員
佐々木 大輔

4月から臨時職員になりました佐々木大輔です。一日でも早く戦力になれるよう努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

退伍役員

元理事

佐々木百子
小笠原昭治
菊池 啓之

元監事

岩渕 永男

センターの事業運営などの推進の御貢献頂き誠にありがとうございました。

新任役員



理事 飛澤 壽男



監事

理事長	福島	理事	細越賢太郎
副理事長	太田屋	理事	飛澤
理事	滋	常務理事	壽男
理事	遠藤	監事	熊谷
三河	良雄	監事	齋藤
純子		悟	正
監事			
山口			
周			

新役員の紹介

安全・適正就業強化月間

令和4年7月1日から令和4年7月31日まで

① 目的

シルバー事業は、安全・適正就業に対する意識の高揚を維持していく為、7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、安全・適正就業について、全ての会員、役職員が個人そして組織全体の問題として捉え、事故の撲滅と受注及び就業形態の適正化を図り、「安全・安心」なシルバー事業の発展を図ることとする。

② 全国統一スローガン 「いつまでも 働く喜び 無事故から」

③ 令和4年度安全・適正就業強化月間の取り組みについて

- 全国統一スローガンの看板設置及びポスターの掲示。
- 全会員への強化月間の目的・取り組む事業等のチラシ配布。
- 安全委員会によるパトロールの実施。



④ 安全・適正就業対策推進委員会委員名簿

理事	遠藤 良雄	三河 純子	細越賢太郎		
会員	岩間 富雄	上田 巖	佐々木 馨	佐々木克己	攝待 吉男
事務局	熊谷 正	小野寺 光			

(任期: 令和4年7月1日から令和6年6月30日まで)

安全・適正就業強化月間
 スローガン『いつまでも 働く喜び 無事故から』
 公益社団法人 宮古市シルバー人材センター

シルバー団体傷害保険と、安全就業ハンドブック活用について

就業中や就業途上で怪我をし、契約保険会社より保険給付対象と認定された場合、保険が適用されます。

- 会員の就業中の事故は、労災の対象になりません。(雇用関係が無いため)
- 会員各自の健康保険証に基づき、治療してください。その際、安全就業ハンドブック p38「医療機関の方々へ」を病院へ提示して下さい。
- 速やかに事故の状況、傷害の状態などをシルバー人材センター事務局に連絡して下さい。その後、事務局でシルバー団体傷害保険の手続を進めます。

健康診断受診記録			
年	月	日	病院名
38			
39			

センターの仕事で事故にあったときは、病院の方にこれを見せましょう。

医療機関の方々へ

シルバー人材センターが提供する仕事は、会員に対して、家庭、事業所等から請負、委任で引き受けた仕事を会員に提供している関係から、労災保険の適用は受けられません。したがって、会員は、各自の健康保険証に基づき治療を受けることとなります。

ただし、会員が、職業紹介や一般労働者派遣により、就労していた場合の事故については、労災保険の適用を受けます。

シルバー団体傷害保険内容と対象

保険金支払い対象

- 就業中の事故
- 就業への往復途上、センター主催のイベント等の往復途上の事故

※ シルバー派遣事業による業務の従事中(通勤途上含む)に傷害を被った場合は、労災保険(労働者災害補償保険)が適用されます。作業中に会員が「倒れた」「怪我した」場合は、直ちに事務所に連絡をお願いします。

事務所閉所日の緊急連絡先 090-5840-9687

当センターの事故発生状況

(令和4年4月～令和4年6月)

事故の種類	件数
損 傷 (ガラス破損)	1 件
傷 傷 (手の捻挫)	1 件

会員のひろば

会員の皆様の自由なコーナーです!!
投稿作品募集中!!



6月川柳同好会例句会

【お題】川 川柳 肩・腰・父の日

俳句 梅雨

短歌 母

短母の夢 時々見ては 懐かしく
在りし日のこと 今の如くに

俳早く梅雨 来てほしいのは 田畠だけ

太田屋 滋

川あつたかな 小さい頃に 父の日が

俳紫陽花の 色のあざやかな 梅雨の朝

中居 幸子

川ひなたぼこ 老いを競つて 腰話し

川呼び止める 肩の花びら 顔染める

上坂 初代

川父の日にあてにしているビール瓶

俳梅雨晴れ間 草刈りさんは シルバーや

中村 國雄



毎月第3木曜日 10時~

うみまち広場・3F研修室で活動中!
興味のある方、お気軽にご参加下さい。



医者通い

太田屋 滋

「貧乏ゆすり」?

岩船 ハナミ

一体、私達はこれまでにどれ程多くのお医者様にお世話をなってきたのでしょうか。もしお医者様がこの世に存在しなかつたら私達はどうなつていたのでしょうか。

「貧乏ゆすり」はするな。と昔から言われ、恥ずかしくてみつともない事……と思っていました。

現在通つてている所だけを挙げても、内科、皮膚科、眼科。そして時に歯科があります。内科は糖尿病の薬のメトグルコにウルソを服用しています。皮膚科は塗り薬と飲み薬の二種類と紫外線照射の治療があります。糖尿病の為皮膚科の治療は難かしいと言われています。治りにくいのです。

眼科は白内障の治療です。ある時の先生の診察は「白内障です。」の一言だけでした。小学生校1年生の時に胸の病気で8ヶ月入院を余儀なくされました。一昔前では助からなかつた病気だつたと思います。以来どれほど多くのお医者様にお世話をなつてきたのでしょうか。だからお医者様には頭が上がらないのです。感謝。

康ゆすり
は、いか
がでしょ
うか♡



候群等の解消としても有効とか：貧乏！どころか値千金の健康アイテムのようです。いつでも誰でも簡単に出来るのですから、なかなか動けない方や、運動不足の方、座りっぱなしの方は、この「値

千金の健

シルバー人材センター普及啓発促進月間について

毎年10月は、シルバー人材センター普及啓発促進月間です。

令和4年度 清掃奉仕活動

- ◆期日 令和4年9月22日(木) 雨天中止
- ◆時間 午前9時～11時
- ◆場所 宮古市市民総合体育館(現地集合)
- ◆内容 入口付近の清掃
当日は汚れてもよい服装、除草や目地掃除できる用具等ご持参下さい。
- ◆参加申込
9月15日(木)まで当センターにお申し込みください。



事務所利用について

宮古市地域創生センターへ移転し、1年が経ちました。

事務所への来所や電話連絡等の注意を再度お知らせします。

●業務時間外の電話連絡について

平日 12:00～13:00 17:15～翌8:30、
土日祝日その他休暇中の電話連絡時には時間外案内のアナウンスが流れます。

●宮古市地域創生センターの正面玄関の開館は午前9時からとなっております。

会員の皆様にはご不便ご迷惑をおかけしますが、ご了承お願いします。



インボイス制度 (適格請求書等保存方式)について

現在会員の皆様が受け取る配分金には消費税(10%)が含まれております。本来会員の皆様は「個人事業主」として就業しており、受け取った配分金に係る消費税は税務署に納税する必要がありますが、消費税法上、受け取る金額が年間1000万円以下であるため免税事業者として取り扱われ、申告納税する必要がありません。しかし、令和5年10月にインボイス制度が導入される予定です。これにより会員の皆様が受け取る配分金に係る消費税の扱いについても変わっていく可能性があります。現時点ではまだ不明な点があるため、制度がはっきりした時点で皆様へお知らせいたします。



就業会員募集

- ・墓地清掃
- ・草取り、手鎌刈り
- ・草刈り(機械除草)
- ・庭木剪定
- ・障子、襖張替え

作業できる方・興味のある方はぜひ!! 事務所までご連絡ください。

新入会員募集

会員強化のため、お知り合いの方に「お声掛け」をお願いします。

入会説明会予定日

【令和4年7月～12月】

場所：宮古市地域創生センター内
開始時間：午後1時15分～(1時間程度)

7月
①7/6(水)
②7/20(水)

8月
①8/3(水)
②8/17(水)

9月
①9/7(水)
②9/21(水)

10月
①10/5(水)
②10/19(水)

11月
①11/2(水)
②11/16(水)

12月
①12/7(水)
②12/21(水)

センターでは常時会員を募集しております。皆様の友人・知人・配偶者など勧誘や紹介をお願いします。

連日の猛暑で死者や搬送されるニュースに心が痛みます。まずは体力そして熱中症にかかるないよう、いつも以上に気を配りながらこれから過酷な夏を乗りこえましょう。

三浦
眞知子

さて先般立ち上げました宮古市シルバー人材センター川柳同好会も軌道に乗りつつあります。今回4人の作品が揃いました。まだまだ未熟ではあります。戦争のなき世を望むのは万人の願いです。

“白丸や巡り巡りて盆の月”は小生の作です。二〇二三年も盆の月を迎えます。戦争のなき世を望むのは万人の願いです。

思つています。どうか関心のある方のご参加を希望致しております。

太田屋
滋

編集後記

二刀流と言えば今や大リーグ投手兼打者の大谷翔平選手の代名詞です。その昔「宮本武蔵」を書いた文豪吉川英治は宮古の旧館(愛宕)日蓮宗本照寺に寄宿していました。

本家本元の二刀流は宮本武蔵です。武人でありながら書画や著作も残しています。「五輪の書」がその一つです。

寺を出て寺までかへる盆の月”は吉川英治の俳句です。ご自身が夜の宮古街に出で遊び、夜明け方に寺に戻ったことを俳句に表わしたのではないかと私は解釈しています。

“白丸や巡り巡りて盆の月”は小生の作です。二〇二三年も盆の月を迎えます。戦争のなき世を望むのは万人の願いです。

コロナに振り回され数年(?)皆様の体調はいかがでしょうか?私は、七十にして神経痛の辛さを知りました。これほど大変とは…たかが?神経痛?帶状疱疹でも痛みは凄いと思いましてがwww。先人さんたちの思い(?)を肌で感じ、今更ながら、もっと優しくわかつてあげられたら良かつたな…と思う事しきりです。

岩松
ハナミ



ホオノキの花

公益社団法人
宮古市シルバー人材センター

〒027-0028
岩手県宮古市神林3-1
TEL (0193)63-7443
FAX (0193)64-3285

会報編集委員

太田屋
滋
三浦眞知子
岩松ハナミ

緊急連絡先
(事務所閉所時)

携帯電話
090-5840-9687